特定非営利活動法人
RISIS 瀬戸内海研究会議

参加無料 ｜ 会場＋オンライン

令和８年度　瀬戸内海の環境保全・創造研究ワークショップ

瀬戸内海の環境管理から持続的な地域づくりに向けて

景観・観光・環境経済・食文化…　人と海のつながりを、人文社会科学の視点から考えます



日時	令和８年12月４日(金)13:00～16:45
会場	神戸商工貿易センタービル 26 階 第８会議室(神戸市中央区浜辺通 5-1-14)
参加費	無料
定員	会場 40 名(先着順)＋ Web 参加 200 名(Zoom Webinar を使用)

主催　特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議
後援　公益社団法人 瀬戸内海環境保全協会、瀬戸内海環境保全知事・市長会議
　　ひょうご環境保全連絡会

50TH Anniversary

プログラム・申込書は裏面にあります

参加申し込み

申込締切：令和８年12月２日(水)

Web 参加(Zoom ウェビナー)
下記 URL・QR コードから
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_eMuKsWaRR0u48eJcHuVS8w

会場参加：下記①または②でお申込みください

①Google フォーム(下記 URL・QR コード)
https://forms.gle/YenrtN51qt1L6CJo7

②E メール(下記の内容でお送りください)
件名：ワークショップ会場参加申込
本文：氏名(ふりがな)・所属・連絡先
送付先：web@seto.or.jp

会場のご案内



令和 8 年度　瀬戸内海の環境保全・創造研究ワークショップ

趣旨

2015・2021 年に改正された瀬戸内海環境保全特別措置法および基本計画では、「きれいな海」にとどまらず「豊かな海」「賑やかな海」の実現が掲げられています。その達成には、水質・生態系などの自然科学的知見に加え、地域社会、文化、景観、観光、食、経済活動、市民参加など、人と海の関係を捉える人文社会科学の視点が欠かせません。

本ワークショップでは、瀬戸内海研究会議・人文社会科学分科会が 2026 年度に重ねてきたオンライン研究会の成果を共有し、景観、観光、環境経済、食文化、海洋ごみ、環境教育などの分野を横断して、「豊かな瀬戸内海」を人と社会の側からどう描き、実装していくのかを皆さまと考えます。


多島美の景観


観光・地域資源を訪ねる


里海づくり

プログラム

13:00	開会あいさつ	多田 邦尚	（瀬戸内海研究会議 理事長／香川大学 名誉教授）
13:05	趣旨説明	日髙 健	（瀬戸内海研究会議 副理事長／近畿大学 名誉教授）

研究発表（発表 25 分、質疑 5 分、コメント 10 分）

13:10	瀬戸内海の環境管理制度の変遷		
	発表者	日髙 健	（瀬戸内海研究会議 副理事長／近畿大学 名誉教授）
	コメンテーター	寺田 彩乃	（環境省 海域環境管理室 審査係長）
13:50	瀬戸内海における景観の見方と人のかかわり～ランドスケープ科学の視点から～（仮）		
	発表者	大平 和弘	（兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授）
	コメンテーター	樋渡 彩	（近畿大学 工学部 講師）
	休憩（14:30～14:35）		
14:35	地域事業者は体験型観光を通してどのように地域資源を捉え直すのか		
	発表者	西村 美樹	（香川大学 地域マネジメント研究科 特命准教授）
	コメンテーター	原 直行	（香川大学 経済学部 教授）
15:15	瀬戸内海の環境保全と地域経済の好循環について考える		
	発表者	藤田 香	（近畿大学 総合社会学部 教授）
	コメンテーター	仲上 健一	（立命館大学 名誉教授）
	休憩（15:55～16:00）		
16:00	総合討論	瀬戸内海の持続的な地域づくりにおける人文社会科学分野の役割	
16:40	閉会あいさつ	駒井 幸雄	（瀬戸内海研究会議 副理事長兼企画委員長）

参加申込書　（参加方法の「会場」「オンライン」どちらかに〇をつけてください）

お名前	所属	役職等	参加方法	E-mail
			会場・オンライン	

お問い合わせ　**特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議 事務局**
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 人と防災未来センター東館 5 階
TEL 078-241-7720　FAX 078-241-7730　E-mail web@seto.or.jp